



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121  
 会長 立石 誠 幹事 平出吉範 会報委員長 宮下金俊 第2813回例会 2018.2.15 No.1475



ロータリー：  
変化をもたらす

## 2017-18年度RIテーマ

ROTARY :  
MAKING A  
DIFFERENCE

**ソング** 我らの生業**会長談話**

昨日、平昌オリンピックで日本の選手が4つのメダルを獲った。とりわけ伊那西高校出身の小平奈緒が銀メダルに輝いたことは大変めでたい。



北朝鮮応援団は、異様な雰囲気応援している。フィギアの応援やホッケー女子が8対0で負けている時の応援など、どういう国か理解に苦しむ点がある。韓国の人が言うに北の国の女と南の国の男は最高だと聞いたこともあるような・・・！？北朝鮮は何を考えているかわからない国であります。ロータリークラブはしっかりと信念を持ってやっていきましょう。

**委嘱状伝達**

2018-19年度地区大会

企画委員会委員

竹腰哲夫会員、平澤泰斗会員

**幹事報告**

- 辰野ロータリークラブより、卓話例会のご案内。  
日時：2018年3月7日（水）12：30～通常例会  
13：00～13：30 卓話  
例会場：たつのパークホテル  
講師：長野県副知事 中島恵理様  
テーマ：子供の貧困、支援、施策に関して  
※メイクアップされる方は3月2日（金）までに事務局までご連絡をお願いします。
- 伊那中央ロータリークラブより、創立30周年記念誌をいただきました。
- 地区RACより、「第41回地区年次大会」仮登録案内。  
日時：2018年5月26日（土）  
会場：上田東急REI ホテル  
登録締め切り：3月7日（水）

## ☆お知らせ

- ・次週22日（木）は創立記念例会です。大勢の皆さんのご出席をお願い致します。
- ・次週例会後理事会を開催いたします。役員・理事の方はご出席をお願い致します。（例会場）

**委員会報告**

## ○「会員増強合同委員会」出席報告



## 藤澤洋二会員増強委員長

2月3日（土）駒ヶ根において、上伊那下伊那両グループの会員増強合同委員会が開催され、会長・幹事と3人で出席した。ガバナー・ガバナーエレクト・上下伊那ガバナー補佐も参加された。会員増強は大切なのでしっかり取り組んでいただくよう話があり、各クラブの対応状況を説明した。現段階では、当クラブのみ唯一会員数が純増しており、皆さんのご尽力に感謝し、引き続きご協力をお願いしたい。

## ○「地区職業奉仕セミナー」出席報告

## 宮下光一職業・社会奉仕委員長



2月4日（日）松本キッセイ文化ホール国際会議場で開催され、基調講演を清水会員の息子さんの清水慎一さんが「菓子創りは夢創り」とのテーマで講師を務めて、大変夢のある良い内容であった。清水さんはテレビ・新聞にも登場して全国的に活躍している方。また、会員の事例発表の中で、飯田の久保田製菓の話があり、私が昔10年間菓子屋をやっていて、「池田内閣総理大臣賞」を受賞して極めたので、菓子屋を辞めた経歴に思いを馳せたところ。

**出席報告** 会員数58名 内出席免除20名 長欠2名 出席者36名 事前メーキャップ3名 出席率76.47% 前々回79.54%変更なし。

## ニコニコボックス

立石 誠 小平奈緒さん他平昌オリンピックメダルラッシュでおめでとうございます。

藤澤洋二、藤澤秀敬 伊那バスのアグリ事業部が、先日耕作放棄地の活用に関し長野県に表彰されました。信毎に伊那バスターミナルの建設をきっかけに、伊那バスを取り上げて頂き、私の写真まで載せて頂きました。

原田和愛 今日は卓話を行います。

都築 透 久しぶりに例会に出席させていただきます。

本田敏和 IGM 例会場ご利用ありがとうございました。

## IGM報告

A班 宮澤弘明会員 内容は、2月8日会報を

B班 矢島 勇会員 ご覧ください。

C班 山崎秀亮会員



## 会員卓話 原田 和愛会員

演題－「製法特許 固相拡散接合について」－

上州生まれ、群馬より出てきた。兄の入っていたタカノさんに入社した。20歳の時に、東京練馬の200坪土地に工場を出して操業に携わった。総工事費400万円かかったが、3年ほどしたらそこが2000万円になり、手放して横浜工場に移った。東京工場の際は、ニッパツさんの自転車のサドルのバネを作成していた。横浜工場では、安く大衆車を大量生産するため、日産サニーのリアシートを軽く乗り心地良く作ることにになり、製作を受注してニッパツに納めた。私は、9人兄弟の末っ子であるが、兄2人と一緒にタカノさんにおいて、25歳の時にタカノの社長から一番若いおまえが事業をやってみると仕事も設備も借りて始めた。男3人とおばちゃん2人の5人で始めて、月の売り上げ25万円からスタートであった。折り畳み傘のバネも月産130万本加工して作った。

S45年頃タカノさんがコクヨさんと提携して、パイプ椅子を本格的に作ることにになり、宮田製作所で背と肘の部分を作らせてもらった。パイプ加工を始めたのはその時からである。その後、兄と



次の兄がタカノさんの専務と工場長を務めていたが、定年となり会社に入ってくるようになった。私が兄を使う訳にはいかないの、社長になってもらい(株)宮田と社名を改名した。(株)宮田は現在も存続しておるが、いずれは息子に会社を譲るつもりで、早めに社業を分けた方が良く、平成元年には(株)テーケーを作った。

(株)テーケーの主力はニッパツさんの仕事で、(株)宮田はタカノさんの仕事と棲み分けて操業していた。パイプ加工の仕事をする中で、建設から自動車部品までやっていて、フランジ加工といってクギの頭のように開く。10パイなら15パイ、20パイなら30パイくらいまで開く、それ以上になると裂けてしまう。お客様から40パイまで開いて欲しいと要望があり、それなら溶接で付けてしまえばいかがかと考えたのが、今の圧入溶接の元になっている。圧入溶接ができるまでは、鉄板にパイプを溶接するが、CO2溶接やガス溶接では使い道が限られて、スポット溶接に差し込む方法を採用したが、最初うまくいかなかった。型の改良と接合部の形状変更により試作品を作り、これを東京の機械要素展に出展したところ、オーハシテクニカに興味を持って頂き、日産のゴーンの外注30%オフの方針に合わせて共同で開発実験を始めて、出来上りを日産に出し採用となった。

長野県の工業技術センターへ出したところ、電子の力についている画期的な技術と評価された。九州の工業技術センターでも全く同じ評価を得て、特許出願に向けて動きだした。圧入溶接で特許をとったが、大学の先生方の意見として拡散溶接が適正ではないかと修正した。普通の溶接より非常に強く、特に船の溶接はほとんど使ってもらっている。

20年経ち、テーケーという会社を知っていたが、受注をいただいている。オーハシテクニカさんと共同で特許を取得しているので、製造権はテーケー、営業・販売権はオーハシテクニカさんが担っている。日本の自動車メーカーと取引している。月産100万個世界に販売している。電気自動車になりエンジンがなくなると不要になってしまうが、あと10年はハイブリットなど多くの取引が見込まれる。

現在、第4工場建設中、4月末完成を目指している。1階は圧入溶接ライン、2階溶接ライン、その他にも研究開発室と次期ライン用スペースを考えている。この圧入溶接固相拡散接合は考えようとしてできた訳ではなくて、お客様の要望に基づいて作ったらできた次第である。